

基礎プロ7回目 学ぶこと: switch 文

教科書pp.104-105の例

```
if (n==1){  
    printf("春巻きです. ¥n");  
}  
else if (n==2){  
    printf("シューマイです. ¥n");  
}  
else{  
    printf("どちらでもありません. ¥n");  
}
```

これは、次のように書き換えても同じこと

```
switch (n){  
case 1:  
    printf("春巻きです. ¥n");  
    break;  
  
case 2:  
    printf("シューマイです. ¥n");  
    break:  
  
default:  
    printf("どちらでもありません. ¥n");  
    break;  
}
```

switchを最初を書く
何の値によって、
振り分けるかをまず明示

n=1の場合の処理。
breakで処理を抜ける。

n=2の場合の処理。

それ以外の場合の
処理

と書くことができる。